

埼玉県民の日特集 埼玉の歩みと魅力

プロスポーツチーム

埼玉県は、4つのプロスポーツチームの本拠地。一流のプレーが身近に見られるのは埼玉ならではの。

浦和レッドダイヤモンズ(さいたま市)

平成4年に誕生したJリーグ1の人気チーム。ガンバ大阪との直接対決を制し、初の年間王者に輝いた記念すべき試合はリーグ最多観客(62,241人)試合。



©URAWA REDS

埼玉西武ライオンズ(所沢市)

前身の西鉄時代を含め、優勝回数はパ・リーグで21回、日本シリーズで13回。球界の盟主ジャイアンツもライオンズは苦手(10回対戦し7度の日本一)。



©SEIBU Lions

大宮アルディージャ(さいたま市)

平成10年に誕生。前身の電電埼玉サッカーチーム(昭和44年発足)から埼玉を活動拠点としており、実は浦和レッズよりも埼玉での活動の歴史は長い。



©1998 N.O.ARDIA

埼玉ブロンコス(所沢市)

平成8年、日本初の市民球団として誕生。平成17年日本初のプロバスケットボールリーグ「bjリーグ」の発足に伴いプロ球団に生まれ変わった。



©SAITAMA BRONCOS

県の愛称「彩の国」

平成4年11月14日(県民の日)、埼玉県の愛称に「彩の国」が選ばれました。豊かな自然に恵まれ、産業、文化、学術など様々な分野で発展する多彩な国、埼玉を表現しています。

埼玉県章



まが玉を円形に配置したデザインは、「太陽」「発展」「情熱」「力強さ」を表現しています。まが玉は、埼玉古墳群(行田市)から多数出土した埼玉県にゆかりの深いものです。

これが古代人の装飾品「まが玉」



自然豊かな埼玉県。そのシンボルをご紹介します。

県民の鳥「シラコバト」



コバトンのモチーフだよ。

県の花「サクラソウ」



田島ヶ原(さいたま市)は日本最大級の自生地。

県の木「ケヤキ」



日本一長いケヤキ並木(所沢市～さいたま市)も。



仲間がこんなにいるんだわー!!

県の魚「ムサシトミヨ」



生息地は元荒川上流(熊谷市)だけ。

県の蝶「ミドリシジミ」



初夏の夕方に羽をキラキラと輝かせて、ハンノキ林を飛び回ってるよ。

埼玉県の誕生から今年で139年になります。埼玉の歩みをギュッとつめてご紹介しましょう。

- 平成22年 コバトン10歳の誕生日
- 平成21年 「まなびピア」開催
- 平成20年 「彩夏到来08埼玉総体」開催
- 平成20年 全国生涯学習フェスティバル「まなびピア」開催
- 平成19年 「ジャパンフラーフェスティバルさいたま」開催
- 平成18年 「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」開催
- 平成17年 「コバトン」が県のマスコットに再就職
- 平成16年 「彩の国まごころ国体」開催
- 平成15年 さいたま市が政令指定都市に
- 平成14年 「2002年FIFAワールドカップ」開催
- 平成13年 さいたま新都心街びらき
- 平成12年 埼玉スタジアム2002開設

11月14日は「埼玉県民の日」



埼玉県は明治4年生まれ

明治4年に廃藩置県が行われ、「県」の統廃合があつて11月14日に「埼玉県」が誕生しました。生まれたばかりの埼玉県は今と違って、荒川より東の地域でした。荒川の西が入間県で、明治6年に群馬県と合併して熊谷県に。そして、明治9年、埼玉県と旧入間県が合併して、今の埼玉県とほぼ同じ形になったのです。当時の資料によると、人口は896,107人でした。

100年目を記念して!



昭和46年、埼玉県が誕生してから100年目に当たるのを記念して、11月14日を「県民の日」としました。



昭和初期の
県庁です

県域の移り変わり



埼玉県と入間県
(明治4年11月)



埼玉県と熊谷県
(明治6年6月)



埼玉県
(明治9年8月)

あの時、あんなことがあったね!

- 昭和46年 人口400万人突破
- 昭和47年 東北自動車道(岩槻〜宇都宮)間開通
- 昭和48年 武蔵野線開通
- 昭和49年 県庁第2庁舎完成
- 昭和50年 県立がんセンター開設
- 昭和52年 人口500万人突破
- 昭和53年 西武ライオンズ誕生
- 昭和54年 メキシコ州と姉妹提携
- 昭和55年 こども動物自然公園開園
- 昭和56年 人口550万人
- 昭和57年 東北新幹線、大宮駅暫定始発で開業
- 中国山西省と友好県省に
- 昭和58年 辛亥銘鉄剣などが国宝に指定
- 昭和59年 オーストラリア・クィーンズランド州と姉妹提携
- 昭和60年 埼京線開業、川越線全線電化
- 昭和61年 埼京線が新宿まで延長
- 昭和62年 人口600万人突破
- 昭和63年 「さいたま博覧会開催 ソニックシティ開設
- 平成元年 「国民文化祭さいたま'89」開催
- 平成2年 米国オハイオ州と姉妹提携
- 平成3年 人口650万人
- 平成4年 県の愛称、「彩の国」に決定
- 平成5年 駒場競技場で初のJリーグ公式戦
- 平成6年 彩の国さいたま芸術劇場開館
- 平成7年 阪神・淡路大震災に県内各界から救援活動
- 平成8年 圏央道(鶴ヶ島〜青梅間)開通
- 平成10年 雁坂トンネル開通
- 平成11年 ドイツ・ブランデンブルグ州と姉妹提携

日本最大級の円墳が 映画の舞台に 埼玉古墳群(行田市)

丸墓山古墳は直径105mで日本最大級の円墳。忍城を水攻めにするため石田三成が陣を張った場所でもある。攻防の様子は小説「のぼうの城」に描かれている。



初詣客が5倍に 鷺宮神社(久喜市)

アニメ「らき☆すた」の舞台となって話題に。平成22年正月三が日の参拝客は、アニメ放映前の5倍にあたる45万人を記録した。



伝統の舟下りを横目に 激流と格闘 長瀬

明治中期以来の歴史をもつ舟下り。びしょびしょになってゴムボートをこぐラフティング。激流あり、緩やかな流れありの数キロを楽しむ。



らき☆すた
知ってるん!



ピンクと白のじゅうたん 羊山の芝桜(秩父市)

秩父市街地を見下ろす羊山に「芝桜の丘」はある。ピンクや白、紫など様々な色の40万株を超える芝桜が見せるパッチワークのような景観は春の風物詩に。隣にはちゃんと羊の牧場も。



土手の上は見晴らし抜群 荒川自転車道

自転車がブームだ。さいたま市から荒川のほとりを走り、滑川町の武蔵丘陵森林公園に至る45.9kmの荒川自転車道。長く続く土手の上は、起伏が少なくて走りやすい。



埼玉で霊峰富士を仰ぎ見る

埼京線から富士山

富士山を見るのに絶好のスポットがJR埼京線。高架が続く戸田公園～北与野間では電車の中からもきれいに見える。12月～1月の晴れた日がおすすめ。



鉄道の歴史を語る車両ずらり

鉄道博物館(さいたま市)

通称「鉄博(てっぱく)」。おすすめの企業博物館ランキングでは堂々の第1位。蒸気機関車や初代新幹線、寝台車両などが並ぶ。シミュレータで蒸気機関車を動かそう。



**知ってる?
今どきの
埼玉の魅力**

今人気の場所はここ!
押さえておきたい
スポット!!

スリル満点の川遊びや、鮮やかな色で目を楽しませてくれる花畑、アニメや映画の舞台になった場所など、最近注目を集めているスポットをチョイス。



埼玉県には続々と新しい魅力が生まれている。今のイチ押しはこれだ。

住民の生活を守る巨大地下神殿

首都圏外郭放水路(春日部市)

巨大な地底空間は大きな柱で支えられ、まるでギリシャのパルテノン神殿。その正体は地下50mを貫く約6.3kmの地下トンネルをもつ世界最大級の洪水を防ぐ施設だ。

